

社会

小学校 第6学年

OS・ソフト等

- ロイロノート
- MetaMoji Classroom

<単元・題材名>

明治の国づくりを進めた人々

ねらい

江戸時代と明治時代の人々の生活の様子を比べる追究活動を通して、明治時代になると暮らしが大きく変わり、現代に近付いたことに気づき、その大きな変化が20～30年の短い期間に起こったことに疑問をもち、単元を貫く課題を設定し、単元の課題への予想を行うことができる。

主なICTの活用方法

- ・ 協働学習支援ツール（ロイロノート）の思考ツールを用いて、江戸と明治の生活の様子を比較する。
- ・ ICT 機器を使って資料・ワークシートを配付し、資料に書き込みながら追究する。

ICTを通じて育成する資質・能力

- ・ 江戸時代と明治時代を比較しながら追究することができる。
- ・ 江戸時代と明治時代の町並みの様子を表す資料の根拠を明確にしながら、明治維新が進む頃、短期間で社会に大きな変化が起こったことを理解することができる。

実践の概要

本時では、ICT 機器を使って社会的事象を比較する。ICT 機器を使用することで、比較の視点を整理したり、時代の変化を分かりやすくしたりする。ICT 機器ではなく、紙のノートで追究することを自ら選択する児童も想定し、協働学習支援ツールを基にしたワークシートも用意し、個別最適な学びが実現するよう学習環境を整える。ICT 機器を、児童の追究をスムーズにできるような手段とし、社会的な見方・考え方を主体的に働かせた追究活動を行う。

児童の学びの様子

- 導入時に前単元の江戸時代の様子を表したスライドを視聴することで、これまでの人々の生活の様子や政治体制について想起しながら、課題追究に取り組むことができた。
- 江戸時代と明治時代の人々の生活や建物を画像で比較し、その時代の特色や違いについてロイロノートを活用し、情報を整理することができた。
- 全体交流では、ロイロノートで整理した視点や考えを基にして、伝えたい視点について画像を指し示しながら説明することができた。
- 江戸時代から明治時代にかけての時代の推移を紙テープで示す中で、改めて映し出された建物や人々の生活の変化を見つめたことで、今後の学習の見通しや単元で学ぶ意識をもつことができた。



指導のポイント

- 全ての児童が、既習内容で取り上げた資料を即座に仲間に提示しながら、本時の社会的事象との共通点や相違点について説明できるように、ICT 端末の効果的な活用の仕方等を価値付ける。
- 江戸時代と明治時代の人々の生活や建物の違いを視覚的に分かりやすくするための資料を精選する。
- 児童が資料から読み取った内容を思考ツールに整理した上で、学習課題について比較しながら考えたことまでを可視化できるようにスライド等を工夫する。